

令和5年度 農林水産関係試験研究事後評価結果（令和4年度終了課題）

大分県農林水産研究指導センター

【農業部門】

所属名	課題名	研究結果	評価結果
農業研究部	農業分野における転炉スラグの活用拡大に関する技術構築	・フロントローダとマニュアルスプレッダーを用いた省力的な散布方法の確立 ・夏秋ピーマンにおける斑点病の病害抑制効果の解明 ・露地野菜の適正評価(普及カード)	・普及指導員による現地指導
	水田畑地化圃場における土壌改良技術の確立	・大分式強化釜場による排水性改善効果の解明(普及カード) ・粗大有機物の大量投入による土壌物理性改善、収量増加 ・圃場の排水対策支援プログラムの開発(普及カード)	・普及指導員による現地指導 ・次期試験研究計画に活用
	「ベリーツ(大分6号)」の高品質安定生産技術の確立	・環境制御技術による収量向上、奇形果の改善、糖度向上、糖度のばらつき軽減の解明(研究Now) ・春先の品質が向上する収穫基準の解明	・普及指導員による現地指導 ・次期試験研究計画に活用
	気象変動に対応したトマトのかん水技術と裂果対策技術の確立	・日射+飽差センサを利用した自動かん水方法の確立 ・赤外線カットフィルムによるハウス内環境改善効果の解明 ・裂果が少ない品種「麗月」における、施肥やかん水量の影響を解明	・普及指導員による現地指導 ・次期試験研究計画に活用
	労働力不足に対応した施設野菜類の安定生産技術の確立	・ニラの越冬期における調製効率の良い根付深度と植付本数の解明 ・ニラの光合成速度が最大となる炭酸ガス施用濃度、温度の解明 ・小ネギのベルトプランター移植時の転炉スラグの添加による効果の解明	・普及指導員による現地指導
農業研究部 水田農業 グループ	水田農業の経営安定化に向けた経営最適化システムの開発	・農研機構と全農が共同開発した「新Z-BFM」を活用するための経営データ入力に必要な指操作成ファイル並びに簡易操作マニュアルを作成	・普及指導員による現地指導
	大規模経営体に対応した麦類の高速播種システムの確立	・パワーハローによる耕耘・畦立・播種作業を同時にできる装置の開発 ・GNSSガイダンスと自動操舵装置の組み合わせで作業効率の向上を実現	・普及指導員による現地指導
農業研究部 果樹 グループ	県南地域に適した中晩柑の高品質生産技術の確立及びオリジナル品種の開発	・マルドリ方式の導入による施肥や灌水体系の開発(普及カード) ・水腐れ等に対する被膜剤等利用の検討(普及カード) ・オリジナル品種の開発	・普及指導員による現地指導 ・次期試験研究計画に活用
	ナシの作業性に優れた「改良流線型仕立」栽培法と側枝発生促進技術の開発	・「改良流線型仕立」の開発による樹勢強化と作業性の向上(普及カード) ・側枝発生促進技術の開発	・普及指導員による現地指導 ・次期試験研究計画に活用
	ブドウの高収量栽培、早期成園化技術と新品種の安定生産技術の確立	・2段仕立てによる高収量栽培技術、早期成園化技術の確立 ・貯蔵技術の開発(普及カード)(研究Now) ・着色優良黒系ブドウの安定生産技術の確立	・普及指導員による現地指導 ・次期試験研究計画に活用
農業研究部 花き グループ	水田畑地化に対応したホオズキ栽培体系の確立	・露地における草マルチによる泥はねの軽減効果を数値化 ・短茎ホオズキの簡易雨よけハウス栽培による高品質化を確認 ・8月出荷作型に適した実生苗の育苗期間と切り花の特性を確認	・次期試験研究計画に活用
	トルコギキョウ夏秋産地拡大のための栽培技術の確立	・緩効性肥料(70日タイプ)を用いた栽培技術を確立した。 ・太陽光LEDはプラスチック抑制にやや効果があり、開花が早い傾向が見られた。 ・夏秋期作型に適した品種として8月開花22品種、9月開花23品種、10月開花1品種を選定した。	・次期試験研究計画に活用
	県育成品種識別技術の確立と花きオリジナル品種の育成	・「大分果研4号」、「大分果研6号」と他の主要カンキョウ品種の識別技術確立 ・シンクロトン照射により、白輪ギクの濃黄色化・芽なし、トルコギキョウの矮化、ヤマジノギクの早晩性変異、ホオズキの小型化系統が得られた。	・次期試験研究計画に活用 ・品種識別技術は研究機関として所有し、問題発生時に即応できる体制を取る

※農業部門 13課題

【林業部門】

所属名	課題名	研究結果	評価結果
林業研究部	長大スパンに対応する接着重ね材の開発	・大分県産スギ・ヒノキ柱材を用いて製作した長さ6~8mの接着重ね材の曲げ試験を行なった結果、日本農林規格(JAS)の基準を概ね満たすことが確認できた。 (普及カード)	・普及指導員等による現地指導
林業研究部 きのこ グループ	乾シイタケ原木栽培の早期ほだ化技術の確立	・成型駒の多植、木片駒を接種した仮伏せ時のビニール被覆及び林内棒積伏せ込みによる早期ほだ化を確認 ・木片駒を接種した仮伏せ中のビニール閉閉による1年目の単収向上を確認	・普及指導員による現地指導
	大分県の気象条件に適合した乾シイタケ品種の育成	・種菌メーカーとの連携のもと各地区生産者の実用化検定試験を実施し、実用化が期待できる有望な系統を選抜	・普及指導員による現地指導 ・次期試験研究計画に活用

※林業部門 3課題

【水産部門】

所属名	課題名	研究結果	評価結果
水産研究部	魚類疾病に対するワクチン等の効果を高める技術の開発	・新規DNAワクチンの試作、感染実験手法の確立(普及カード) ・ワクチン効果が低い要因の解明(研究Now) ・機能性資材の投与による、II型レンサ球菌症の死亡開始遅延を確認	・次期試験研究計画に活用

※水産部門 1課題

※ 畜産研究部、水産研究部北部水産グループは該当がありません

(合計 17課題)